

日本ロジックス

東大阪西岩田倉庫が稼働

10拠点・2万坪超に

総合物流企業の日本ロジックス(大阪府東大阪市)は3月16日に家電物流子会社の倉庫

を買収し、新たな物流拠点として「東大阪西岩田倉庫」を稼働させた。同社が展開する「関

西1000坪程度の倉庫会社を買収する予定だ。

今回の買収は、売却先から話があって進めてきたという。楠本佳弘専務は「最低でも保管料だけで年間1億5000万円の売り上げを見込んでいる」と説明。また、東大阪西岩田倉庫は、関西での物流倉庫及び自社便あり

稼働を開始した「東大阪西岩田倉庫」



西1000坪程度の倉庫会社を買収する予定だ。

今回の買収は、売却先から話があって進めてきたという。楠本佳弘専務は「最低でも保管料だけで年間1億5000万円の売り上げを見込んでいる」と説明。また、東大阪西岩田倉庫は、関西での物流倉庫及び自社便あり

の配車機能を備える拠点展開の強化を担うため買収したという。保管機能や流通加工機能、車両配車機能など総合的に物流事業を展開しているが、同社も景気低迷などのあおりを受け、個々の既存顧客に対する売り上げ単価や利益率は下がっている。楠本専務は「今回のように新規などでカバーしている状態で、車両運送部門では利益が出せず苦戦を強いられている」と厳し

い状況を語る。しかし、物流拠点の戦略的な構築や新たな案件の確保、流通加工の強化を目的にした倉庫会社の買収などに取り組みむことで、「倉庫の買収」「新たな仕事」「倉庫会社の買収」の三つで、約8億円の増収が見込まれる」という。「現状に満足しない徹底した改善の積み重ねが、人材育成につながっている。良い営業マンや社員に恵まれたことが大きい」。

同社は今回の買収などで、本社を含めた物流拠点は10拠点となる予定で、倉庫の延べ床面積も計2万坪を超えられることとなる。

(山田克明)